【評価シート】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価の項目 | 評価 | 評価基準 |
| 関心・意欲・態度・顔を見て・日本語を使わないで・適切な声量で | ◎ | 相手の目を見て，相手に聞こえる十分な声量で，日本語を使わず，できるだけ詳しく話そうとする態度がある。 |
| ○ | 相手の目を見て，相手に聞こえる十分な声量で，日本語を使わず話そうとする態度がある。 |
| ・ | アイコンタクトがなく，声が小さい。既習の英語表現について日本語を使ってしまう。 |
| 内容・自分の名前や誕生日・好きなことやほしいもの　など | A | 自分のことについて，紹介したいことを詳しく，具体的に説明している。 |
| B | 自分のことついて，紹介したいことを概ね説明している。 |
| C | 自分のことについて，紹介したいことの説明が不十分である。 |
| 正確さ・文法・語彙・発音 | A | 適切な発音で，文構造への意識もあり，英語を全て正しく使っている。 |
| B | 文構造への意識がやや薄い(単語で答えることがある)が，英語を概ね正しく使っている。 |
| C | 重大なまちがいが多く，何を伝えたいのかわからない。問われたことに合わないことを答えている。または，文構造への意識がなく，単語の羅列のみで伝えようとしている。 |
| なめらかさ・以下の対話方略を適切に用いて・あいさつ・繰り返し・一言感想・確認の言葉・さらに質問 | A | 相手意識をもち，はじめのあいさつ，必要に応じた繰り返し，一言感想，理解を確かめたり興味があるか質問したりするなどして，そこから話題を展開させ会話を広げ，対話を始めから終わりまでスムーズに続けている。 |
| B | 相手意識があり，全てではないが上記のうちいくつかの対話方略を使って対話を概ねスムーズに続けている。 |
| C | 相手意識がなく，対話中長い沈黙が多くある，または，対話方略をほとんど使わず最後まで対話が続かない，または，一方的に自分の伝える/相手の話をだまって聞くばかりでコミュニケーションが取れていない。 |

Memo　（児童の発話について，必要に応じてメモを取る）

|  |  |
| --- | --- |
| 態度 |  |
| 正確さ |  |
| なめらかさ |  |
| 内容 |  |

総合評価

A・B・C

５年（　）組（　）番　名前（　　　　　　　　　　　　）

【スコアリングシート】あなたの今日のコミュニケーションは･･･

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価の項目 | 評価 | 先生からのアドバイス |
| 態度・顔を見て・日本語を使わないで・適切な声量で | ◎ | 相手に伝えようという意識をもって，自分の気持ちや考えについてより詳しく伝えようとすることができています。これからもこの調子でがんばりましょう。 |
| ○ | 相手に伝えようという意識をもって，自分の気持ちや考えを伝えようとすることができています。さらに，普段の活動の中で，伝えたい内容についてより詳しく話すことを意識するとよいでしょう。 |
| ・ | 相手に伝えようという意識はあるものの，時々声が小さく聞き取りにくいことがありました。普段の活動の中で，相手の目を見て話すことや，相手に伝わる十分な声の大きさで話すことなどを意識するとよいでしょう。 |
| 内容・自分の名前や誕生日・好きなことやほしいもの　など | A | 自分のことについて，紹介したいこと（自分の名前，好きなものや好きなこと，欲しいもの，誕生日，普段やっていること，その理由などを）詳しく，具体的に伝えられています。この調子でがんばりましょう。 |
| B | 自分のことについて，紹介したいことが伝えられています。今後は，自分からより詳しく（どんな～が好きか・理由など）話すことを意識すると，あなたのことがより伝わるでしょう。 |
| C | 自分のことについて，紹介したいことが十分伝えられたとは言えません。相手に何を伝えたいのかをはっきりさせて，対話をしましょう。何を伝えたいか（どう伝えたらよいか）分からない時は仲間とたくさん交流して，仲間の考えや表現から学んで，実際に使っていくとよいでしょう。特に表現については，先生も力になれるでしょう，いつでも質問待っています！  |
| 文で・習った英語で・文で・英語らしい発音で | A | これまでに学習した英語表現を使って，適切な発音で，文で話すことができています。これからもこの調子でがんばりましょう。 |
| B | これまでに学習した英語表現を使って話すことができていますが，時々単語だけで答えたり，やや英語らしくはない発音で答えたりしています。普段のSmall Talkなどで，尋ねられたことに文で答えようと意識したり，わからない言い方を先生に聞いたりして確かめたりするとよいでしょう。 |
| C | 聞かれたことと違うことを答えたり，単語ばかりで伝えたりしています。普段の活動の中で，先生や友達の話す英語をよく聞いたり，尋ねられたことに文で答えようと意識したり，できるだけ英語で言えるよう，わからない英語表現を先生に聞いて確かめたりするとよいでしょう。 |
| 楽しく続く会話・対話を続けるための英語表現を使って・あいさつ・繰り返し・一言感想・確認の言葉・さらに質問 | A | 理解を確かめたり興味があるか質問したりするなどして，必要に応じて繰り返し伝えたり，そこから話題を展開させ会話を広げ，自分のことをより伝えようとしていることが分かります。この調子でがんばりましょう。 |
| B | 相手に伝わるように声の大きさや速さを考えたり，身ぶりなどを使ったりしていました。さらに相手に伝わるために，相手の理解を確かめたり，質問をしたりしながら紹介をするとよいです。活動の中で意識して話してみましょう。 |
| C | 一方的に自分の伝えようと思っている内容だけを話してしまうところや相手の話をだまって聞いていることがありました。活動の中でまずは相手を見ましょう。相手の反応を見ることで伝わったか判断できるようになります。そこから声の大きさや速さを考えたり，身ぶりなどを使ったりしていきましょう。 |

５年生前期

５年（　）組（　）番　名前（　　　　　　　　　　　　）